

**製品名: アルファシヌクレイン (18R1) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06801**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	14kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SNCA
別名	Alpha-synuclein; NACP; non A-beta component of AD amyloid; Non-A beta component of AD amyloid; PARK1; PARK4; PD1; SNCA;
遺伝子 ID	6622.0
SwissProt ID	P37840
免疫原	ヒトαシヌクレインの合成ペプチド

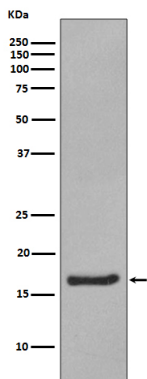
## 背景

ドーパミンの放出と輸送の調節に関与している可能性がある。微小管関連タンパク質タウの線維化を誘導する。様々なアポトーシス刺激に対する神経細胞の応答性を低下させ、カスパーゼ 3 の活性化を低下させる。SNCA の遺伝子変異は線維への異常な重合を引き起こし、いくつかの神経変性疾患（シヌクレイノパチー）と関連している。シナプス小胞輸送とそれに続く神経伝達物質の放出の調節など、シナプス活動において複数の役割を果たす神経タンパク質。小胞プライミング、融合、およびエキソサイトーシス融合孔の拡張を促進することにより、シナプス小胞エキソサイトーシスにおけるモノマーとして関与する (PubMed:28288128、PubMed:30404828)。機構的には、ATP 誘導性エキソサイトーシスの増強に不可欠な、マイクロドメインからの局所 Ca(2+)放出を増加させることによって作用する (PubMed:30404828)。また、多量体膜結合状態では分子シャペロンとしても作用し、システインストリングタンパク質- $\alpha$ /DNAJC5 と連携して、シナプス前細胞膜における SNARE（可溶性 NSF 接着タンパク質受容体）と呼ばれるシナプス融合構成要素のフォールディングを促進する (PubMed:20798282)。このシャペロン活性は、加齢に伴う SNARE 複合体の正常な構築を維持するために重要である (PubMed:20798282)。また、ドーパミントランスポーター（DAT1）と会合してその活性を調節することにより、ドーパミン神経伝達の制御にも関与する (PubMed:26442590)。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



ヒト胎児脳溶解物中のアルファシヌクレインの発現のウェスタンブロット分析。